

インタビューしてみました！ スポットライト

漁師

古川 豪一 - TOSHIICI KOGAWA -



このコーナーは深浦で頑張る若者を紹介するコーナー「スポットライト」です。

今回、インタビューしたのは北金ヶ沢で漁業を営む古川豪一（こがわ としいち）さん。
古川さんは、今年3月に八戸水産高校を卒業したばかりの新米漁師。21の資格を保有するほか、高校3年時には、水産・海洋系学科に在籍する高校生の知識・技術を評価する「マリンマイスター」の総合得点で全国1位に輝くなど知識・技能の習得にも力を入れています。

漁師になろうと思ったキッカケは？

父が漁師をしていたのが大きいです。祖父も漁師で、小さい頃から身近に感じていました。

漁師をしていて大変なことは？

魚が取れる時期だと、早朝から夕方にかけて仕事をすることもあるので、体力的にキツイ部分があります。網を結んだりするのも結構難しいです。力仕事も、細かい作業もあるので大変です・・・！



▲早朝から海へ行きます

21の資格を取得したとのことですが、その中でも取得に苦戦した資格を教えてください！

「甲種危険物取扱者」の取得に苦戦しました。何回か落ちて精神的にキツイ部分もありましたが、過去問をたくさん解いて合格することができました。



▲網おこしはかなりの重労働です

取得した資格をどう活かしていきたいですか？

危険物取扱者などは活かせるかわからないですが、漁師をするために必要な資格も取得しました。そういう資格は仕事で活かしていきたいです。また、資格取得に向け頑張った過程も大事にしていきたいです！

最後に深浦の好きなところを教えてください！

山、海があるところです！空気も美味しい！人も好きです！

高校を卒業してすぐとは思えない落ち着いた古川さん。これからも努力することを楽しんで、頑張ってください！
取材にご協力いただきありがとうございました！



▲「マリンマイスター」「甲種危険物取扱者」の賞状を持つ古川さん

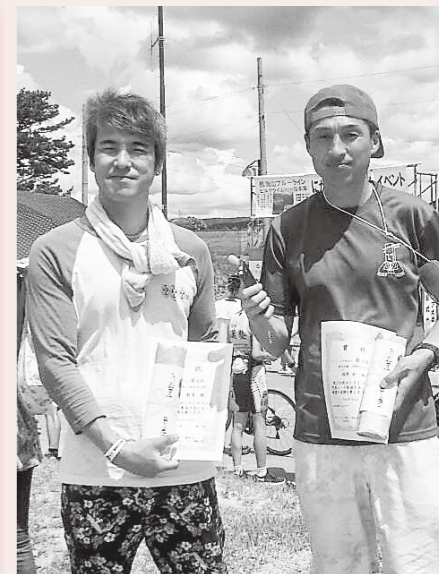
進め協力隊!!



協力隊通信 vol.11

深浦町地域おこし協力隊 浪岡 敏勇（なみおか としお）

暖かい風、もう春ですね。36歳の夏「煙草をやめよう！」と決意し、会社の庭から空を眺めて同僚に宣言しました。「あと1本吸ってから」とか甘い事はやめて、3本残っていた煙草を捨てて16年が経過、一度も再喫煙してません。様々な理由があるんですが、煙草の価格が300円を超え始めた頃、世の中の流れが確実に禁煙へと向かい始めました。当時は禁煙外来など無く、やめるには自力「固い意志」を貫き続けるという根性論しかなかった時代です。煙草をやめてから約1年「もしや健康に？」と勘違いしてしまったのが、今思うとトライアスロンを始めたきっかけでした。煙草もやめられたし「数年ぶりに水泳でもやろうかな」とことで、なまった体を作り直そうと一番楽なところから始めただけなんです。元々水泳部だったので走るより泳ぐほうが楽なんです。ある日、友人が「ダイエットをする！」と言うもんで、じゃあ仲間に入れろと「俺もやるっ！」と更に減量へも挑戦。この頃から筋トレも始め、気付くと何やら「自転車も乗るか？」ってなり、ネットから型落ち激安のロードバイクを購入し、青森むつ間往復を皮切りに、奄飛。下北一周、青森市から十和田湖一周往復。そんなある日「これ、後走ればトライアスロンできるんじゃないか？」と…。そこからはほぼ独学でトライアスロンを意識して練習に没頭です。トライアスロンはスイム⇒バイク⇒ランの三競技で競います。中でも自分は「走る」という行為が昔から大嫌いでしたが「しょうがねーな」と諦め、練習し続けました。因みに定期的にマラソン大会に出場するようになった今でも、走るの大嫌いでも何も変わっていません(笑)トライアスロンから学んだ事は「諦める事を諦める」この一言に尽きます。競技中の大怪我で弱気になった時、これまでの積み重ねをただただ無駄にしたいとなく、そこで諦めるのさえ馬鹿らしくなったんですね。そう考えられた事で無事出走出来ました。因みにトライアスロンは競技人口は約300人に一人だそう。ピンときませんが卓球の10分の1、ゴルフの20分の1。競技の順番は「危険リスクが高い順」からなんですよ。体も確実に変わります。今年は大会が開催されるといいなあ。



ワカメ収穫体験 ~学んで!食べる!~ 深浦マリンキッズ

深浦マリンキッズ16名が参加して「ワカメ収穫体験・閉講式」が3月25日に開催されました。

収穫体験は、北金ヶ沢漁業振興会の皆様にご協力いただき、大きく育ったワカメを海から引き揚げ、船上に取り込む作業を行いました。



活動に参加した子供たちは「あんな細い種糸からこんなに大量のワカメが育ってうれしい。初めて海の中から出てくる生のワカメを見た。」と滑るワカメに悪戦苦闘しながら船上に運び入れ、その量に驚きと喜びでいっぱいでした。

午後からは収穫したワカメを塩蔵ワカメにする工程も学び、本年度の深浦マリンキッズ全てのメニューは終了しました。